

北川村保小中一体化施設整備基本計画(案)に関する意見募集の結果

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
<p>1 保育所と学校がそれほど離れてないにもかかわらず一体的な学びや交流が出来ないのでしょうか。それを工夫し合うのが教職員の連携ではないのでしょうか。</p> <p>従来型の教室では、交流や協働学習への対応が困難と言うけど、それを補うのは、教職員の腕の見せ所ではないのでしょうか。小学校には、特別教室がなく十分な体験学習が困難と言うけど、現在複式学級をしている中、空き教室や多目的ホールの利用ができないのでしょうか。小学校のランチルームで小中一緒に給食を食べたりするのもいいと思います。</p>	<p>現在、保育所と学校が一定の距離にある中でも、教職員の工夫により、保小の交流や小中の学びの接続を生み出すことは可能であり、これまでもそのような取組を重ねてきました。一方で、施設が分かれている場合には、移動時間の確保、安全管理、行事や授業時間の調整、天候への対応などの課題があり、日常的かつ継続的な交流や、発達段階に応じた一体的な学びを安定して実施することにはどうしても一定の制約があります。本計画の柱である施設の一体化は、教職員の工夫を不要にするものではなく、そうした取組をより円滑かつ継続的に進める環境を整えることに意義があると考えております。</p> <p>この点が明確に伝わるよう、計画本体の施設上の課題として「(保育所と小・中学校の敷地が離れていることは、)教職員の工夫により交流や接続を図ることができる一方で、移動や安全管理、天候への対応等の課題を伴い、日常的かつ継続的な交流や接続を進める上で物理的な制約となっています。」と追記しました(P21)。</p> <p>既存施設の空き教室や多目的ホールを活用した活動についてのご提案は、限られた環境の中で工夫を重ねる上で大切な視点であると受け止めております。一方で、複数の学年や異年齢が日常的に交流し、協働的に学ぶ場として継続的に活用するためには、活動内容や人数、音環境、動線、見守りのしやすさなどに配慮した空間整備が重要であるとと考えております。</p> <p>また、ご指摘のように、小学校のランチルームで小中学生が一緒に食事をするのも、交流の一つの形として有効であると考えます。しかしながら、一体化施設の目的は、給食時の交流にとどまらず、日々の学習活動、生活面での関わり、行事や体験活動などを通じて、保・小・中の連続した育ちと学びを支える環境をつくることにあると考えております。</p> <p>この点が明確に伝わるよう、計画本体の施設上の課題として「(従来型の教室では個別最適化された学びや協働的な学びに)十分対応できず、また、既存の空き教室や多目的ホールの活用にも一定の限界があることから、保小中の連続した学びや異年齢交流を日常的かつ継続的に支える環境としては十分とは言えず、北川村ならではの魅力ある教育活動が展開する上でも、今日的な教育ニーズに応えられていない状況にあります。」と追記しました(P21)。</p>
<p>子供達を地域で見守るのは、いいことです。だからこそ、学校の行事ごとには地域の人達も参加するような仕組み作りをしないといけないと思います。用事が無ければ行きにくいのは当たり前、ただ用事が無いのに学校などに行くのはどうかと。今のご時世、防犯や安全面にも考慮しなくてはいけないのではないのでしょうか。</p>	<p>子どもたちを地域全体で見守り、支えていくことは大変重要であり、学校行事や日常の教育活動に地域の方々が関わる機会を設けることは、子どもたちの豊かな学びや安心感につながるものと考えております。そのため、ご提案の、地域の方々が学校に関わりやすくなるような仕組みづくりは大切な視点であると認識しており、北川学をはじめ、地域との交流を促進する取組を検討してまいります。</p> <p>一方で、学校は子どもたちが日常的に生活し学ぶ場であることから、地域に開かれた学校づくりを進めるに当たっては、防犯面や安全面への十分な配慮が不可欠です。特に現在は、不審者対応や来校者管理、子どもたちの動線確保など、安心して学校生活を送るための環境整備がこれまで以上に重要になっています。このため、地域の方々に利用いただく場合にも、防犯対策や地域の方々の協力による見守りのほか、活動内容に応じた事前受付や入退館管理など、安全性を確保した上で、地域と学校が適切につながる仕組みを整えていくことが必要であるとと考えております。</p> <p>この点が明確に伝わるよう、計画本体の今後検討すべき課題として「(地域利用と学校利用の両立を図りながら、)子どもたちが安心して生活できる環境を確保するとともに、施設の円滑な運用を進めることが求められます。そのため、防犯対策や地域の協力による見守りも踏まえつつ、予約管理や入退館管理などの仕組みを整備するなど、施設管理のための人員・システムの導入について検討していく必要があります。」と追記しました(P50)。</p>
<p>快適な環境では、トイレの洋式や体育館の空調設備、バリアフリー、雨に濡れずに建物に移動できる渡り廊下とか、安全で快適な環境設備は、必要なかぎり改善する必要があると思います。</p> <p>施設が時代遅れと言って十分な教育が実現出来ないのでしょうか。そしたら今日までの子供達は、十分な教育が実現できなかったと言うことでしょうか。そこは、教える教職員の腕の見せ所ではないのでしょうか。施設を建て替えたからといって人口や子供が増えると言うものでもないと思います。施設の建て替えありきでは無く、耐力度調査の結果を踏まえて今の既存の校舎をどう快適に利用できないかと言う事を考えるべきではないのでしょうか。</p>	<p>トイレの洋式化、体育館の空調整備、バリアフリー化、雨天時に濡れずに移動できる渡り廊下の整備など、安全で快適な生活環境の充実に関する賛成のご意見として承ります。</p> <p>施設が現在の基準やニーズに十分対応していないことをもって、これまでの教育が十分でなかったと言うものではありません。これまでの学校教育は、教職員の努力や創意工夫により支えられてきたものであり、その意義や成果が損なわれるものではないと考えております。一方で、教育環境に求められる水準や機能は時代とともに変化しており、今日では、安全性や快適性、多様な学習形態への対応など、従来以上に施設面で求められる条件が広がっています。そのため、教職員の工夫だけで対応するのではなく、必要な教育環境を施設面からも整えていくことが重要であるとと考えております。</p> <p>また、施設の建て替えのみをもって人口増加や児童生徒数の増加につながるものではないと考えております。施設整備の目的は、人口対策そのものではなく、将来にわたり北川村の子どもたちが安全で持続的に教育を受けられる機会を確保することが主であります。</p> <p>なお、今後の施設整備の方向性については、建て替えありきではなく、耐力度調査の結果をはじめ、既存校舎の改修可能性、維持管理コスト、安全性、教育環境として必要な機能、将来的な学校運営の在り方などを総合的に踏まえ、既存校舎の活用を前提に改修や増築を図っていくものとしております。</p>
<p>2 子どもの数は減っているが、北川小や中学校に通う子どもたちはいます。その子たちのために、しっかり勉強できる環境を整えてあげてほしいと思います。費用はかかるかもしれませんが、未来への投資として、保育から中学までの教育に必要な施設を削るようなことはしてほしくありません。保育所や学校がなくなってしまうと、子育て世代はますます住みにくくなってしまわないかと心配します。</p>	<p>児童生徒数が減少している中でも、村から子どもたちの声をなくさないよう、村の子どもたちにとって、安心して学ぶことのできる教育環境を整える必要があると認識しております。また、保育所や学校は、子どもたちの育ちと学びを支えるだけでなく、子育て世代が地域で安心して暮らすための基盤でもあると考えております。そのため、施設整備の検討に当たっては、費用面だけでなく、子どもたちに必要な教育・保育環境の確保や、地域における子育て環境の維持という視点を踏まえ、将来を見据えた子育て・教育環境づくりを進めてまいります。</p>
<p>3 何より子供達の意見を最優先してほしいです。古い、使いにくいということなのだとしたらやらない理由はないのではないのでしょうか。数年前にもこうした機会がありましたが、また数年後繰り返すのでしょうか。使えるから今のままでいいとか、お金がないから今のままでいいとかは問題の先送りです。最後はトップの判断だと思いますが、私たちの世代にできることはこれからを生きる子供を応援してあげることはないのでしょうか。最近では建築費が高騰していると聞きますので、早期の決断を期待したいと思います。そして教員の皆さんにはそれを生かせる教育にチャレンジしてほしいと思います。</p>	<p>子どもたちの意見を尊重し、安心して学び、成長できる教育環境を整えることは何より重要であると認識しており、本計画の策定に当たって、児童生徒向けのワークショップを実施し、意見を聴取しました。特に、使いにくさに関する課題については、現状のままでよいとするのではなく、将来を見据えて必要な対応を検討していくことが必要であるとと考えております。</p> <p>ご指摘のとおり、教育環境に関する課題を先送りすることなく、必要性、財政状況、建築費の動向などを総合的に踏まえながら、適切な時期に判断していくことが重要であるとと考えております。あわせて、施設整備を行う際には、その効果を十分に生かし、子どもたちにとってより良い学びにつながるよう、教育内容や教育活動の充実を図っていくことも必要であるとと考えております。</p>

<p>4 ○小中は給食をとる場所を集約、1か所にし、給食を作る調理場を併設し、見える化も図ってほしい。学習の為の調理室&食育場所も一体化は可能ですか。</p>	<p>ランチルームの集約や調理室の併設などは食育の充実につながるご提案であると受け止めております。同様のご要望も頂いており、村としても、食育の充実、また、異年齢交流の促進という観点から、計画本体の必要諸室とその条件として調理場・ランチルーム・調理室の一体化を記載しております。なお、調理場の見える化については、ご指摘を踏まえ、その点が明確に伝わるよう、計画本体の必要諸室とその条件として「(調理場は、小学生・中学生いずれも使いやすい位置に配置するとともに、)その様子が見えるように工夫すること。」と追記しました(P37)。</p>
<p>○トイレの配置等も重要(村民とは区別ができるように)</p>	<p>トイレの配置については、利用者区分や動線等に配慮しながら、今後の設計段階で具体的に検討してまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
<p>○避難先となる時のシュミレーションも念頭にした計画も提示してほしい。</p>	<p>ご指摘のように、学校及び保育所は指定避難所でもあることから、具体的な諸室の配置や動線等を踏まえ、避難先となる場合の運用について、今後の設計段階で検討してまいります。この点が明確に伝わるよう、計画本体の今後検討すべき課題として「(あわせて、)保育所・小学校は村の指定避難所となっていることから、避難先となる場合の運用も考慮しながら、諸室の配置や動線を検討することが必要となります。」と追記しました(P50)。</p>
<p>○公的な建築物は使い勝手やメンテナンス方法等に欠陥に近い設計を受け入れてしまいがちです。設計案は経験豊富な建築家などに見てもらおう等していただきたい。</p>	<p>本事業の実施に当たっては、価格のみではなく、本計画の考え方、教育環境の質の向上に関する教室の提案、業務実施体制や実績などを総合的に評価した上で事業者を選定することを考えております。あわせて、設計に際しては、教職員・児童生徒等の意見も聴取しながら、専門的知見を踏まえて検討してまいります。</p>
<p>○現状では卒業式、運動会、イベント等、各々での行事ですが、新校舎に関係なく始めるべきかと思えます。教育委員会としては村とのすり合わせも密にして、村内で同時に別の行事がある等にならない計画を村に進言していただきたい。</p>	<p>教育委員会としては、保小中の合同の取組や地域の方々との交流の観点を踏まえ、学校と連携しながら、引き続き行事等の在り方を検討してまいります。</p>
<p>○地域交流はどう進める予定ですか。「ゆずの花」と同じようなことをしても、目新しい間だけの賑わいで終わるのではと危惧します。月に数回でも一緒に授業を受けるとかはどうでしょうか。日進月歩の科目もあると思いますので。(地球環境や、日本の今など)</p>	<p>本計画では、保小中間の交流に加え、地域の方々との交流・協働を図ることとしております。具体的な取組については今後検討してまいります。これまで培ってきた「北川学」を更に発展させる中で、食育などの取組において、地域の生産者や食生活改善推進員等、地域の方々と連携した学びや活動の機会づくりを検討してまいります。</p>
<p>○教育をする側の教師の確保や指導はどう考えていますか。教師側の北川村カリキュラムはどう考えていますか。</p>	<p>本計画の策定に当たっては、県の教育事務所長にもご参画いただくなど、日頃から北川村の教育方針について県教育委員会と意見交換を行っておりますが、今後、義務教育学校の設置に当たっては、必要な教職員の確保に向けて、県教育委員会と調整を進めてまいります。また、村教育委員会としては、北川村の特色ある教育を進めるため、これまでも学校との協議の機会を通じて、村が求める教育内容や指導方法の周知を行ってきており、今後とも対話や研修の充実を図ってまいります。</p>
<p>○現状、空き教室はそのままなのに、楽器などの片付けがおそろそかだったり、大丈夫ですかと問いたくなります。今からでも始めることはないですか。</p>	<p>学校備品の適切な管理についてのご意見として承ります。いただいたご意見は、今後の学校運営の参考とさせていただきます。</p>

<p>5・校舎の建て替えについて、保護者はどのように考えているのか。</p>	<p>保護者のご意見を伺うことは重要であると認識しており、本計画の策定に当たって、みどり保育所及び北川小中学校の保護者向け説明会・アンケートを実施し、ご意見を聴取しました。いただいたご意見は計画本体の参考3(2)に整理しております。全ての保護者のご意向を網羅的に示すものではありませんが、建て替えの必要性や施設整備の方向性については様々なご意見がありました。こうしたご意見も参考にしながら、今後とも、村の子どもたちの学びがより充実し、今日的な教育ニーズに応えられるよう、施設の一体化や子育て支援を進めてまいります。</p>
<p>・事業費が約23億円とのことだが、村の財政的に実施できるのか。</p>	<p>本事業の実施に当たっては、国の補助等を最大限に活用することなどにより、村の財政負担の軽減に努めることが極めて重要であると認識しております。本計画の取りまとめを踏まえ、関係省庁等との調整を行うとともに、財政当局等に対し、本事業の必要性や緊急性を十分に説明し、実施に向けて必要な調整を進めてまいります。</p>

※取りまとめの都合上、適宜整理させていただいております。